

一関ふるさと学習院

平成30年度
受講生大募集

新市10周年を機に一関地方の歴史と文化を見つめる
～北上川とその周辺の歴史・文化～



脇谷閘門(宮城県石巻市)



登録有形文化財・佐藤家住宅主屋・西洋館(一関市千厩町)



小野寺家住宅(一関市花泉町)



重要文化財・高蔵寺阿弥陀堂(宮城県角田市)

募 集 要 項

- 【開催期間】 平成30年6月～10月の全4回（詳細は裏面をご参照ください）
【定 員】 各回40名（先着順）
【受講料】

	室内講座	現地探訪 (昼食・入館料込)	受 付
正会員 賛助会員	無 料	3,000円	5月10日(木)から
一般	全3回：3,000円 1講座：1,200円	3,500円	5月25日(金)から

(欠席の場合、受講料の返金はありませんので、ご了承ください)

- 【申込方法】 裏面の受講申込書にご記入の上、お申込みください。
【お問合せ】 NPO法人一関文化会議所（一関文化センター内）TEL：0191-32-4333

主催：  NPO 法人一関文化会議所

NPO法人一関文化会議所 平成30年度「一関ふるさと学習院」
～北上川とその周辺の歴史・文化～
講座計画表・受講申込書

回	開催日時	会 場
	内 容	講 師
1	6月12日(火) 14:00～16:00 (室内講座)	一関文化センター小ホール
	近代の北上川舟運 蒸気船と発動機船 江戸時代に発展した北上川舟運は明治以降、廃藩置県と年貢の金納により役割を終えて衰退します。河川利用が自由となると、ひらた船に替わって西洋式の帆走船、蒸気船と発動機船が導入されますが、やがて明治23年(1890)、東北本線が盛岡まで開通すると、岩手県側の舟運は鉄道輸送に変化。宮城県側の鉄道未開通の北上川流域では戦後も舟運が存続しますが、昭和30年頃、自動車の登場で舟運は急激に衰退して終焉を迎えました。	石巻千石船の会 会長 辺見 清二 氏
2	7月25日(水) 14:00～16:00 (室内講座)	一関文化センター小ホール
	気仙大工達の出稼地にのこる遺構 木造建築物は地に落ちたか。大工技術は不用となったか。社会進歩の波にのまれて木の国日本の文化・技術は消滅するのか。かつて番匠とか棟梁と呼ばれた在野の知識人の足跡を辿る。	産金遺跡研究会 会長 平山 憲治 氏
3	9月6日(木) 8:00～17:00 (現地探訪)	集合場所 一関市総合体育館(ユードーム)
	宮城県南の歴史文化～角田・丸森の歴史体感～ 伊具郡と呼ばれた角田・丸森は、養蚕、紅花、楮の栽培が盛んな地域でした。この地域で育まれた歴史文化の一端を現地訪問し体感します。 高蔵寺阿弥陀堂は、奥州藤原氏の関連する歴史を今に伝える古刹で、東北三大阿弥陀堂の一つとして有名です。木造阿弥陀如来坐像と共に国指定重要文化財に指定されています。	見学予定地 ・齋理屋敷(丸森町) ・郷土資料館(角田市) ・高蔵寺(角田市)
4	10月23日(火) 14:00～16:00 (室内講座)	一関文化センター小ホール
	両磐地域の近代和風建築 両磐地域で詳細調査を実施した荻荘家住宅(一関市赤荻)、小野寺家住宅(一関市花泉町)、佐藤家住宅土蔵(一関市花泉町)、岩淵家住宅板倉(一関市川崎町)の4件を中心に、同地域の調査で明らかになった近代和風建築とそれに関わった大工や左官などの職人について解説します。	東北工業大学 名誉教授 高橋 恒夫 氏

下記のとおり申し込みます。

平成 30 年 月 日

ふりがな					TEL
氏名					FAX
住所	〒				
受講回 (○印を)	1	2	3 (現地探訪)	4	
受講料	正会員 賛助会員	無料	無料	3,000円	無料
	一般	1,200円	1,200円	3,500円	1,200円

※1 一関文化会議所正会員(年会費3,000円)・賛助会員(年会費2,000円)は受講料(現地探訪を除く)が無料となります。

※2 室内講座3回を申し込む場合、受講料は3回分で3,000円となります。

※3 現地探訪のみ申込の場合、一関文化会議所正会員・賛助会員、室内講座受講者を優先して受付しますのでご了承ください。

個人情報は「一関ふるさと学習院」運営の目的のほかには利用しません。